

平成23年度サバティカル研究者（鶴成久章）研究成果報告書

平成24年 3月 21日

福岡教育大学長 殿

所属講座・センター	国際共生教育講座
職名	教授
氏名	鶴成 久章 ㊦

受入研究機関等名 復旦大学哲学学院

受入教員の職・氏名 教授・呉 震

研究期間 平成23年 9月20日 ～ 平成24年 3月19日

研究題目 明代の教学制度と儒教

研究成果概要（800字程度又は別紙添付）

別紙参照

## 別紙（研究成果概要）

復旦大学（中国上海市）を研究拠点にして、「明代の教学制度と儒教」に関わる文献の調査研究・資料収集を行うとともに、中国各地に残存する明代の教学関連史蹟（国子監・府学・県学・貢院・書院等）の現地調査を行った。また、受け入れ研究者である呉震教授と明代の教学制度と儒教の関係について共同研究を行った。

上記の内、文献調査・資料収集の主な成果としては、復旦大学附属図書館、上海図書館、天一閣博物館（浙江省寧波市）、南京図書館（江蘇省南京市）における調査によって、明代の科举制度・教育制度に関して多くの成果を得ることができた。一方、教学関連史蹟の調査については、南京貢院、南京国子監、南京府学（以上、江蘇省南京市）、川北道貢院、学院行署（四川省閬中市）、蘇州府学（江蘇省蘇州市）、天真書院遺址（浙江省杭州市）、白鹿洞書院（江西省九江市）、岳麓書院（湖南省長沙市）、白鷺洲書院（江西省吉安市）、鵝湖書院（江西省鉛山県）、東林書院（江蘇省無錫市）、龍崗書院（貴州省修文県）他の史蹟を調査し、文献資料からは得られない多くの知見を得ることができた。

上述の研究成果を踏まえつつ、呉震教授と定期的に研究討議・意見交換を行うとともに、武漢大学（湖北省武漢市）における国際会議（「第八屆科举制与科举学国際學術研討会」、2011年9月24～25日）、白鹿洞書院における国際会議（「哲学与時代：朱子学国際學術研討会」、2011年10月19～20日）、湖南大学（湖南省長沙市）における国際会議（「書院文化的伝承与開拓——紀年中国書院改制110周年・岳麓書院創建1035周年国際學術研討会」、2011年11月5～6日）で研究報告を行い、さらに、上海師範大学（2011年11月28日）と復旦大学（2011年12月9日）において講演を行った。ちなみに、上述の三件の国際会議における報告と復旦大学における講演の内容の一部は、来年度中に中国国内で刊行される論文集に収録される予定である。